

ばね製造業について

ばねは、鉄や非鉄の金属材料あるいは樹脂などの弾性材料を目的の形状に加工して、その弾性復元力を利用する機能部品です。

今日では日本国内にとどまらず世界の自動車分野、通信情報分野、産業生活分野などさまざまな分野のキーパーツとして使用されています。

日本のばね産業は世界のばね産業をリードする立場にあり、世界を相手とするためには、先進技術で世界のニーズに応え続けられるように努めています。

ばねは、大きく分けて金属材料を高温に熱して加工する熱間成形品と常温のまま加工する冷間成形品に分類されます。また線材を加工するものと板材を加工するものに分類されます。このため一口にばねと言っても素材・加工方法・使用用途の組み合わせは無限と言えます。

素材、製造方法から見て地球温暖化の抑制・循環型経済社会の構築に向けた新技術開発が必須の業界です。一人一人の創意工夫を生かし、我々の生活に必要な不可欠な高品質な製品づくりに携われる仕事です。



【ばね製造業で求められる人材】

ばねメーカーに就職すれば実際に製造現場で学びながら技能・技術を習得していきます。実務をつみながら仕事を覚えていき、必要な資格を順次取得していくのが典型的なパターンとなります。就職するにあたって特別な資格などは必要ありません。ものづくりに興味があり、仲間と協調して作業を進めていける方であれば大歓迎です。

高校や大学などで金属、材料工学、塑性加工、機械、電気、情報技術、コンピュータなどの専門知識を学んできた方はその知識を発揮できる業界です。

日本のばねメーカーは企業の規模にかかわらず世界のいろいろな分野と繋がっているため、チャレンジ精神、既成概念にとらわれない発想、プロフェッショナル意識、グローバルな視点を持って欲しいと考えています。

【ばね製造業の主なキャリアプラン】

ばねメーカー各社ではOJTをはじめ教育に力を入れています。(社)日本ばね工業会の人材育成事業である技能・技術についての各種講習会や、技能士資格取得のための「技能検定講習会」、他の専門分野の講習への参加を通じてキャリア形成が図れるよう指導しています。

実務経験2年で国家試験の金属ばね製造技能士2級を受検が可能となります。